

殺人カメラ (1948)

LA MACCHINA AMMAZZACATTIVI

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 イタリア

色彩 B&W

時間 83分

初公開日 1991/03/16

公開情報 大映

【解説】

明るいユーモアが心地よい、ロッセリーニには珍しい喜劇。コメディ・デラルタ的な枠組みを、場所も時代も限定したリアルな設定に当てはめて、風刺を際立たせる点は彼の真骨頂であろう。イタリア南部アマルフィ海岸の小さな漁村は、網元や流通業者、高利貸し、村長らによって牛耳られていた。写真屋のチェレスチーノは、網元の娘と運送屋の仲の仲を取り持ったりする気だてのいい男。その彼のもとに聖アンドレアと名乗る老人が現われ、写真を再び撮影することで被写体を死に至らしめる秘術を授ける。彼はこれぞと思った悪者を次々と血祭りにあげるが、おりしもアメリカ人がホテル建設に進出してきた村には殺すべき対象が引きも切らない……。寓話性を強調する、箱庭に現実を置く幻想的な開巻から引き込まれるお話だが、生々しい手触りがある。幾度の製作中断にもめげず、助監督やプロデューサーの手により完成にこぎ着けた、いわくつきの作品。

【クレジット】

監督	ロベルト・ロッセリーニ	Roberto Rossellini
製作	ロベルト・ロッセリーニ ルイジ・ロヴェーレ	Roberto Rossellini Luigi Rovere
原作	エドゥアルド・デ・フィリッポ ファブリッツィオ・サランザーニ	Eduardo De Filippo Fabrizio Saranzani
脚本	ロベルト・ロッセリーニ セルジオ・アミディ ジャンカルロ・ヴィゴレツリ	Roberto Rossellini Sergio Amidei Giancarlo Vigorelli
撮影	ティーノ・サントーニ エンリコ・ベッティ・ベルッティ	Tino Santoni Enrico Bettini Bertini
音楽	レンツォ・ロッセリーニ	Renzo Rossellini
出演	ジェンナロ・ピサノ マリリン・バッファード ウィリアム・タプス	Marilyn Buford William Tubbs